



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 岩手銀行
コード番号 8345 URL <https://www.iwatebank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長
四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日
配当支払開始予定日 ー

(氏名) 田口 幸雄
(氏名) 佐々木 泰司
特定取引勘定設置の有無 無

TEL 019-623-1111

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(表示単位未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 経常収益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|-------|-------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第3四半期 | 35,579 | 2.1 | 6,463 | △26.3 | 9,346 | 57.7 |
| 28年3月期第3四半期 | 34,816 | 5.4 | 8,775 | 11.7 | 5,923 | 2.9 |

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 7,646百万円 (276.5%) 28年3月期第3四半期 2,030百万円 (△89.5%)

| | 1株当たり四半期純利益 | | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 | |
|-------------|-------------|---|--------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 29年3月期第3四半期 | 522.93 | | 469.39 | |
| 28年3月期第3四半期 | 333.62 | | 299.40 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|-----------|--|---------|--|--------|---|
| | 百万円 | | 百万円 | | | % |
| 29年3月期第3四半期 | 3,302,874 | | 200,789 | | 6.0 | |
| 28年3月期 | 3,514,347 | | 193,097 | | 5.4 | |

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 200,476百万円 28年3月期 192,951百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 28年3月期 | — | 35.00 | — | 35.00 | 70.00 |
| 29年3月期 | — | 35.00 | — | | |
| 29年3月期(予想) | | | | 35.00 | 70.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 | |
|----|-------|-------|-----------------|------|------------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | |
| 通期 | 7,000 | △37.4 | 9,400 | 32.2 | 525.85 | |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー資料(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|--------|--------------|
| 29年3月期3Q | 18,497,786 株 | 28年3月期 | 18,497,786 株 |
|----------|--------------|--------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 29年3月期3Q | 622,141 株 | 28年3月期 | 742,221 株 |
|----------|-----------|--------|-----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 29年3月期3Q | 17,873,723 株 | 28年3月期3Q | 17,756,334 株 |
|----------|--------------|----------|--------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 2 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 2 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 2 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 2 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |

※ [説明資料] 平成29年3月期第3四半期決算の概要【単体】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の損益状況につきましては、経常収益は、資金運用収益が減少した一方、持分法適用関連会社3社（いわぎんリース・データ株式会社、株式会社いわぎんディーシーカード及び株式会社いわぎんクレジットサービス：以下、「グループ3社」といいます。）の連結子会社化に伴い、その他業務収益等が増加したことから、前年同期比7億63百万円増の355億79百万円となりました。

経常費用は、グループ3社の連結子会社化に伴うその他業務費用及び営業経費の増加を主因として、前年同期比30億76百万円増の291億16百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比23億12百万円減の64億63百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、グループ3社の株式追加取得に伴う負ののれん発生益の計上等により、前年同期比34億23百万円増の93億46百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態につきましては、預金等（譲渡性預金を含む）は公金預金の減少を主因として前連結会計年度末比2,511億円減少し2兆9,971億円となりました。

貸出金は、個人向け貸出が増加した一方、法人向け貸出及び地方公共団体向け貸出が減少したことから、前連結会計年度末比368億円減少し1兆7,359億円となりました。

有価証券は、国債の残高が減少したことなどにより、前連結会計年度末比63億円減少し1兆3,149億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月11日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の処理

当行及び連結子会社の税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ14百万円増加しております。

(4) 追加情報

(「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(退職給付制度の変更に伴う特別利益の計上)

当行は、平成28年4月1日付で確定給付企業年金制度(待期者及び年金受給者部分を除く)の一部を確定拠出年金制度に移行しており、移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号 平成14年1月31日)及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第2号 平成19年2月7日)を適用し、確定拠出年金制度への移行部分について退職給付制度の一部終了の処理を行いました。

なお、本移行に伴う退職給付債務の減少による863百万円の特別利益を当第3四半期連結累計期間に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 現金預け金 | 364,926 | 98,169 |
| コールローン及び買入手形 | 20,000 | 101,000 |
| 買入金銭債権 | 3,906 | 3,110 |
| 金銭の信託 | 4,985 | 4,975 |
| 有価証券 | 1,321,286 | 1,314,968 |
| 貸出金 | 1,772,817 | 1,735,968 |
| 外国為替 | 1,709 | 1,622 |
| その他資産 | 6,318 | 21,709 |
| 有形固定資産 | 16,286 | 17,050 |
| 無形固定資産 | 1,875 | 1,647 |
| 退職給付に係る資産 | 1,180 | 4,635 |
| 繰延税金資産 | 6 | 501 |
| 支払承諾見返 | 6,527 | 7,419 |
| 貸倒引当金 | △7,480 | △9,904 |
| 資産の部合計 | 3,514,347 | 3,302,874 |
| 負債の部 | | |
| 預金 | 3,001,203 | 2,861,911 |
| 譲渡性預金 | 247,100 | 135,284 |
| コールマネー及び売渡手形 | 1,126 | 33,960 |
| 借入金 | 13,583 | 14,620 |
| 外国為替 | 0 | 2 |
| 新株予約権付社債 | 11,268 | 11,649 |
| その他負債 | 25,867 | 23,192 |
| 役員賞与引当金 | 24 | 22 |
| 退職給付に係る負債 | 1,439 | 1,949 |
| 役員退職慰労引当金 | 2 | 19 |
| 睡眠預金払戻損失引当金 | 501 | 471 |
| 偶発損失引当金 | 297 | 269 |
| 繰延税金負債 | 12,305 | 11,312 |
| 支払承諾 | 6,527 | 7,419 |
| 負債の部合計 | 3,321,249 | 3,102,085 |
| 純資産の部 | | |
| 資本金 | 12,089 | 12,089 |
| 資本剰余金 | 4,811 | 5,502 |
| 利益剰余金 | 138,253 | 146,159 |
| 自己株式 | △3,748 | △3,115 |
| 株主資本合計 | 151,406 | 160,636 |
| その他有価証券評価差額金 | 47,198 | 44,385 |
| 繰延ヘッジ損益 | △4,073 | △3,540 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,580 | △1,004 |
| その他の包括利益累計額合計 | 41,544 | 39,840 |
| 新株予約権 | 146 | 156 |
| 非支配株主持分 | - | 155 |
| 純資産の部合計 | 193,097 | 200,789 |
| 負債及び純資産の部合計 | 3,514,347 | 3,302,874 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 経常収益 | 34,816 | 35,579 |
| 資金運用収益 | 25,679 | 24,238 |
| (うち貸出金利息) | 14,554 | 13,801 |
| (うち有価証券利息配当金) | 10,914 | 10,399 |
| 役務取引等収益 | 5,678 | 6,285 |
| その他業務収益 | 1,364 | 3,428 |
| その他経常収益 | 2,094 | 1,627 |
| 経常費用 | 26,040 | 29,116 |
| 資金調達費用 | 1,510 | 1,179 |
| (うち預金利息) | 907 | 557 |
| 役務取引等費用 | 2,283 | 2,200 |
| その他業務費用 | 978 | 3,875 |
| 営業経費 | 19,780 | 21,107 |
| その他経常費用 | 1,486 | 753 |
| 経常利益 | 8,775 | 6,463 |
| 特別利益 | 80 | 5,209 |
| 固定資産処分益 | 80 | 5 |
| 負ののれん発生益 | - | 4,339 |
| 退職給付制度改定益 | - | 863 |
| 特別損失 | 132 | 366 |
| 固定資産処分損 | 77 | 115 |
| 減損損失 | 54 | 0 |
| 段階取得に係る差損 | - | 251 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 8,724 | 11,307 |
| 法人税等 | 2,800 | 1,956 |
| 四半期純利益 | 5,923 | 9,350 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | - | 3 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 5,923 | 9,346 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 5,923 | 9,350 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △3,341 | △2,800 |
| 繰延ヘッジ損益 | △671 | 533 |
| 退職給付に係る調整額 | 118 | 575 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 2 | △12 |
| その他の包括利益合計 | △3,893 | △1,704 |
| 四半期包括利益 | 2,030 | 7,646 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 2,030 | 7,642 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | 3 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において持分法適用関連会社でありました、いわぎんリース・データ株式会社、株式会社いわぎんディーシーカード及び株式会社いわぎんクレジットサービスを連結子会社としております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、特別利益として負ののれん発生益4,339百万円を計上したこと等により、利益剰余金が前連結会計年度末比7,906百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が146,159百万円となっております。

また、当行は平成28年6月30日を効力発生日として、当行を株式交換完全親会社とし、株式会社いわぎんディーシーカード及び株式会社いわぎんクレジットサービスを株式交換完全子会社とする株式交換を実施いたしました。当該株式交換を主因として、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が690百万円増加、自己株式が633百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が5,502百万円、自己株式が3,115百万円となっております。

[説明資料]平成29年3月期第3四半期決算の概要(単体)

1. 損益の状況

(単位:百万円)

| | 29年3月期 第3四半期 | 前年同期比 | 28年3月期 第3四半期 |
|---------------|-----------------|---------|-----------------|
| 経常収益 | 32,396 | △ 2,396 | 34,792 |
| 業務粗利益 | 25,239 | △ 2,705 | 27,944 |
| 資金利益 | 23,015 | △ 1,157 | 24,172 |
| 役務取引等利益 | 2,996 | △ 390 | 3,386 |
| その他業務利益 | △ 773 | △ 1,158 | 385 |
| (うち国債等債券損益) | △ 210 | △ 602 | 392 |
| 経費(△) | 19,702 | 167 | 19,535 |
| うち人件費 | 10,250 | △ 311 | 10,561 |
| うち物件費 | 8,283 | 410 | 7,873 |
| 実質業務純益 | 5,536 | △ 2,872 | 8,408 |
| コア業務純益 | 5,747 | △ 2,269 | 8,016 |
| 一般貸倒引当金繰入額(△) | △ 18 | △ 186 | 168 |
| 業務純益 | 5,554 | △ 2,686 | 8,240 |
| 臨時損益 | 520 | 5 | 515 |
| うち不良債権処理額(△) | 399 | △ 774 | 1,173 |
| うち貸倒引当金戻入益 | — | — | — |
| うち株式等関係損益 | 1,148 | △ 468 | 1,616 |
| 経常利益 | 6,075 | △ 2,681 | 8,756 |
| 特別損益 | 754 | 805 | △ 51 |
| 税金費用 | 1,995 | △ 804 | 2,799 |
| 四半期純利益 | 4,834 | △ 1,071 | 5,905 |

※1. 実質業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額

※2. コア業務純益=業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券損益

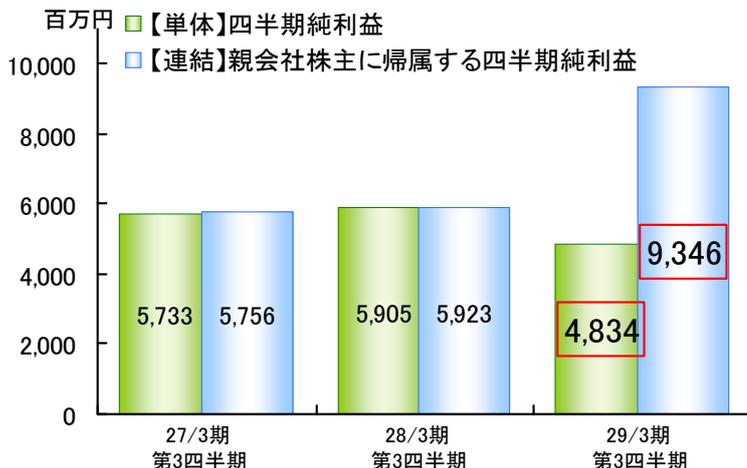
【連結】

(単位:百万円)

| | 29年3月期 第3四半期 | 前年同期比 | 28年3月期 第3四半期 |
|------------------|-----------------|---------|-----------------|
| 連結経常収益 | 35,579 | 763 | 34,816 |
| 連結経常利益 | 6,463 | △ 2,312 | 8,775 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 9,346 | 3,423 | 5,923 |
| うち負ののれん発生益等※ | 4,088 | 4,088 | — |
| 負ののれん発生益等を除く | 5,258 | △ 665 | 5,923 |

※負ののれん発生益および段階取得に係る差損

最終利益の推移(単体・連結)



<単体> ※増減は前年同期比

■ 経常収益~323億円(△23億円)

資金運用収益および有価証券売却益の減少を主因として23億円減少

■ 業務粗利益~252億円(△27億円)

運用利回りの低下による資金利益の減少に加えて、国債等債券損益の減少やデリバティブ関連費用の発生を主因として27億円減少

■ 経費~197億円(+1億円)

店舗関連費用等が増加し、1億円増加

■ 業務純益~55億円(△26億円)

業務粗利益の減少などにより26億円減少

■ 経常利益~60億円(△26億円)

業務純益の減少などにより26億円減少

■ 四半期純利益~48億円(△10億円)

退職給付制度の変更に伴う特別利益を計上したものの、経常利益の減少により10億円減少

<連結>

■ 連結経常利益~64億円(△23億円)

単体経常利益の減少などにより23億円減少

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

~93億円(+34億円)

関連会社3社の子会社化(支配獲得)に伴う特別利益(負ののれん発生益)の計上により34億円増加

2. 貸出金

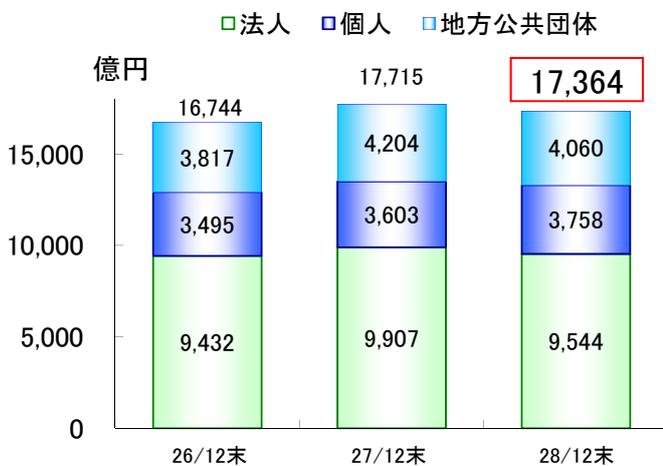
貸出金残高は、個人向け貸出が増加したものの、法人向け貸出および地方公共団体向け貸出が減少したことから、前年同期比351億円(1.9%)減少の1兆7,364億円となりました。また、平均残高は、同74億円(0.4%)減少の1兆7,299億円となりました。

(単位:億円、%)

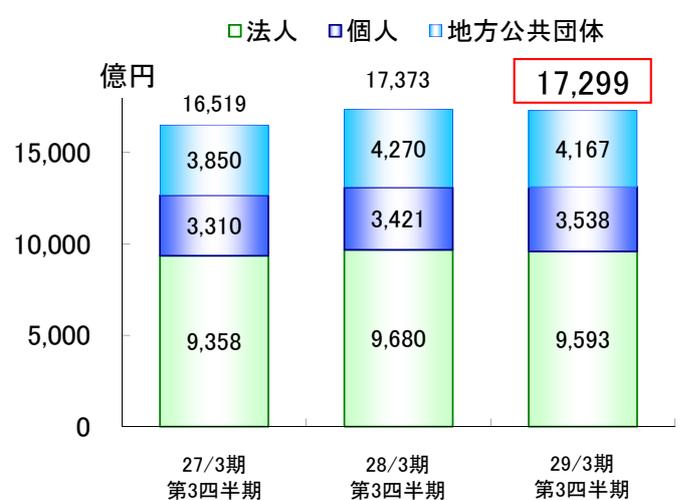
| | 26年12月末 | 27年12月末 | 28年12月末 | 前年同期比 増減額 | 前年同期比 増減率 | 28年3月末 |
|-------|---------|---------|---------|--------------|--------------|--------|
| 貸出金末残 | 16,744 | 17,715 | 17,364 | △ 351 | △ 1.9 | 17,728 |
| 貸出金平残 | 16,519 | 17,373 | 17,299 | △ 74 | △ 0.4 | 17,422 |

※平残は第3四半期累計(9ヵ月間)の計数

貸出金末残の推移



貸出金平残の推移



【中小企業等貸出金の状況】

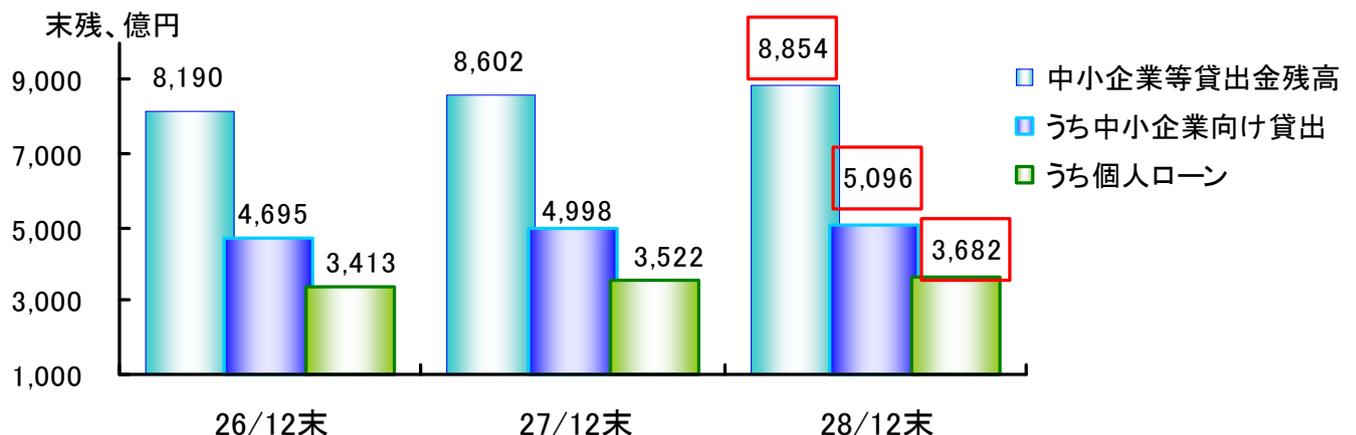
■ 中小企業向け貸出

個人事業主を含む中小企業向け貸出金残高は、前年同期比98億円(1.9%)増加の5,096億円となりました。このうち岩手県内向けは、同70億円(2.0%)増加の3,489億円となりました。

■ 個人ローン

個人ローンの残高は、前年同期比160億円(4.5%)増加の3,682億円となりました。このうち住宅ローン残高は、同119億円(3.6%)増加の3,420億円となりました。

中小企業等貸出金残高の推移



3. 預金等(譲渡性預金を含む)

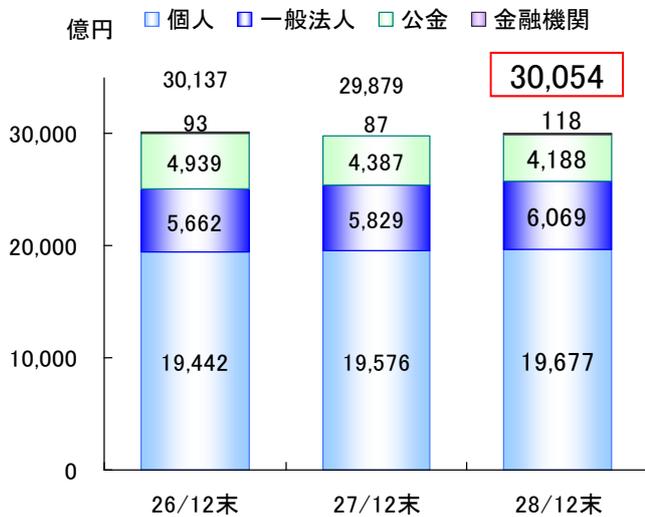
預金等残高は、公金預金が減少したものの、個人預金および法人預金が増加したことから、前年同期比175億円(0.5%)増加の3兆54億円となりました。一方、平均残高は、公金預金の減少を主因として、同32億円(0.1%)減少し、3兆699億円となりました。

(単位:億円、%)

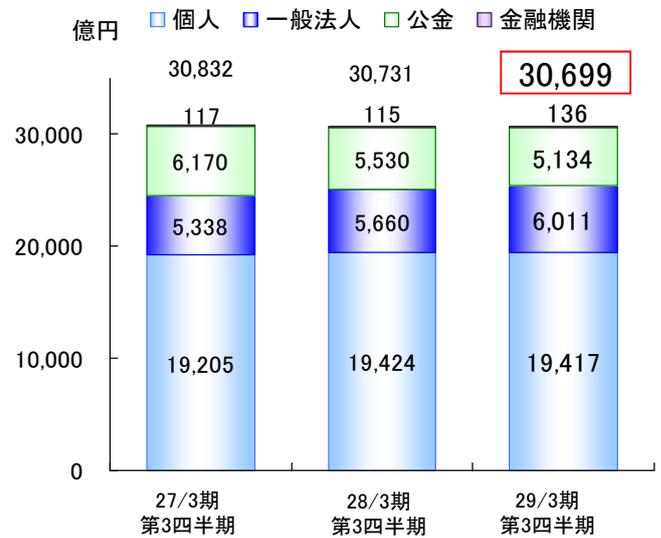
| | 26年12月末 | 27年12月末 | 28年12月末 | 前年同期比 | | 28年3月末 |
|-------|---------|---------|---------|-------|-------|--------|
| | | | | 増減額 | 増減率 | |
| 預金等末残 | 30,137 | 29,879 | 30,054 | 175 | 0.5 | 32,485 |
| 預金等平残 | 30,832 | 30,731 | 30,699 | △ 32 | △ 0.1 | 30,462 |

※平残は第3四半期累計(9ヵ月間)の計数

預金等末残の推移



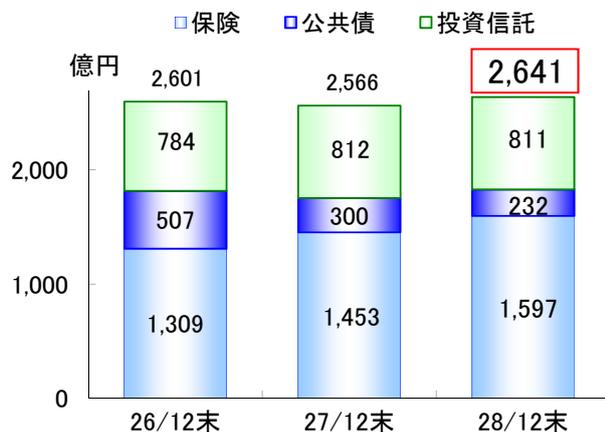
預金等平残の推移



4. 預り資産

預り資産の残高は、保険の増加により、前年同期比75億円増加の2,641億円となりました。また、期中販売額は、投資信託が154億円、公共債が14億円、保険が151億円、総体では319億円となり、前年同期比76億円減少しました。

預り資産残高の推移



預り資産販売額

(単位:億円、%)

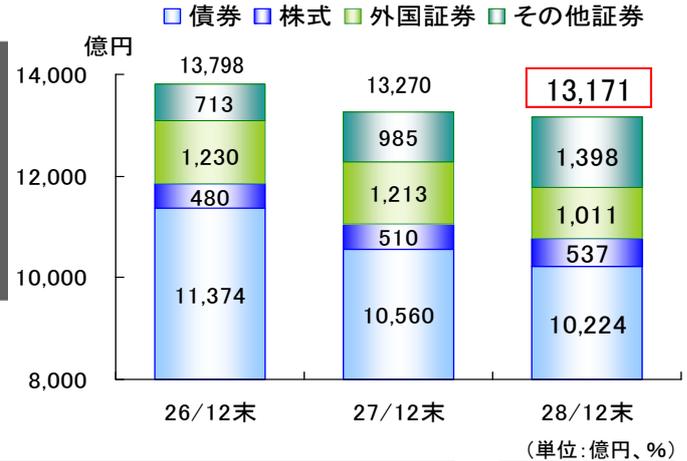
| | 29年3月期 第3四半期 (9ヵ月間) | 前年同期比 | |
|------|---------------------------|-------|--------|
| | | 増減額 | 増減率 |
| 販売合計 | 319 | △ 76 | △ 19.2 |
| 投資信託 | 154 | △ 17 | △ 9.9 |
| 公共債 | 14 | △ 5 | △ 26.3 |
| 保険 | 151 | △ 54 | △ 26.3 |

※保険については有効契約残高を記載しております。

有価証券末残の推移

5. 有価証券

有価証券残高は、債券の運用残高が減少したことなどにより、前年同期比99億円(0.7%)減少の1兆3,171億円となりました。一方、平均残高は、投資信託等の運用残高が増加したことなどにより、同299億円(2.3%)増加の1兆3,231億円となりました。



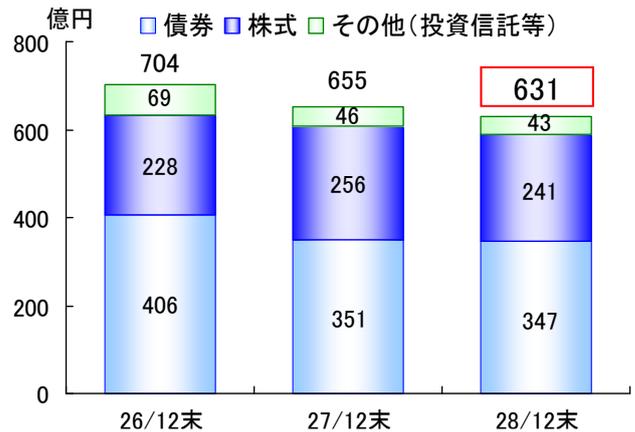
| | 26年12月末 | 27年12月末 | 28年12月末 | 前年同期比 | | 28年3月末 |
|--------|---------|---------|---------|-------|-------|--------|
| | | | | 増減額 | 増減率 | |
| 有価証券末残 | 13,798 | 13,270 | 13,171 | △ 99 | △ 0.7 | 13,208 |
| 有価証券平残 | 13,105 | 12,932 | 13,231 | 299 | 2.3 | 12,855 |

※平残は第3四半期累計(9ヵ月間)の計数

有価証券の評価差額(含み益)の推移

(1) 有価証券の評価差額(含み益)の状況

有価証券の評価差額(含み益)は、前年同期比24億円減少し、631億円(うち債券347億円、株式241億円、投資信託等43億円)となりました。



(2) 有価証券関係損益

有価証券関係損益は、プラス9億円となりました。主な内訳としましては、債券および株式等の売却益が23億円、債券の償還損が13億円であります。

| | 27年3月期 第3四半期 (9ヵ月間) | 28年3月期 第3四半期 (9ヵ月間) | 29年3月期 第3四半期 (9ヵ月間) | 前年同期比 | 28年3月期 | |
|--------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|--------|--------|-------|
| | | | | | | |
| 国債等債券損益 A | 354 | 392 | △ 210 | △ 602 | 254 | 2,057 |
| 売却益 | 487 | 1,333 | 1,122 | △ 211 | — | — |
| 償還益 | — | — | — | — | — | — |
| 売却損(△) | 114 | 5 | — | △ 5 | 5 | 5 |
| 償還損(△) | 18 | 936 | 1,333 | 397 | 1,797 | 1,797 |
| 償却(△) | — | — | — | — | — | — |
| 株式等関係損益 B | 164 | 1,616 | 1,148 | △ 468 | 1,920 | 1,920 |
| 売却益 | 246 | 1,618 | 1,190 | △ 428 | 1,922 | 1,922 |
| 売却損(△) | 0 | — | 41 | 41 | — | — |
| 償却(△) | 81 | 1 | — | △ 1 | 1 | 1 |
| 有価証券関係損益 A+B | 519 | 2,008 | 937 | △1,071 | 2,175 | 2,175 |

※当行では四半期洗替法を採用しております。

6. 与信費用

与信費用は、個別貸倒引当金繰入額の減少等による不良債権処理額の減少を主因として、前年同期比9億円減少の3億円となりました。

(単位:百万円)

| | 27年3月期 第3四半期 (9ヵ月間) | 28年3月期 第3四半期 (9ヵ月間) | 29年3月期 第3四半期 (9ヵ月間) | 前年同期比 | 28年3月期 |
|----------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|-------|--------|
| | | | | | |
| 与信費用 | 221 | 1,334 | 381 | △ 953 | 1,669 |
| 一般貸倒引当金繰入額 | — | 168 | △ 18 | △ 186 | △ 122 |
| 不良債権処理額 | 529 | 1,173 | 399 | △ 774 | 1,798 |
| 貸出金償却 | 13 | 1 | 2 | 1 | 1 |
| 個別貸倒引当金繰入額 | — | 952 | 207 | △ 745 | 1,581 |
| 偶発損失引当金繰入額 | 168 | 132 | 84 | △ 48 | 123 |
| 債権売却損 | 348 | 87 | 105 | 18 | 92 |
| 貸倒引当金戻入益 (△) | 307 | — | — | — | — |
| 償却債権取立益 (△) | 0 | 7 | — | △ 7 | 7 |
| 偶発損失引当金戻入益 (△) | — | — | — | — | — |

7. 金融再生法開示債権

金融再生法開示債権は、前年同期比26億円減少の387億円となりました。また、不良債権比率は、不良債権残高の減少により、前年同期比0.10ポイント低下し、2.21%となりました。

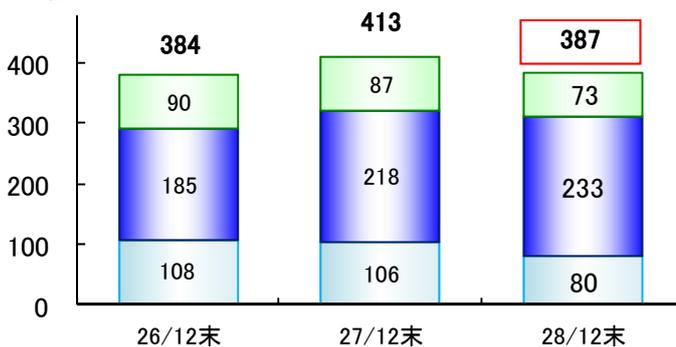
なお、当行では部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の不良債権比率は2.13%となります。

(単位:億円)

| | 26年12月末 | 27年12月末 | 28年12月末 | 前年同期比 | 28年3月末 |
|-------------------|---------|---------|---------|-------|--------|
| | | | | | |
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 90 | 87 | 73 | △ 14 | 88 |
| 危険債権 | 185 | 218 | 233 | 15 | 237 |
| 要管理債権 | 108 | 106 | 80 | △ 26 | 96 |
| 合計 | 384 | 413 | 387 | △ 26 | 423 |

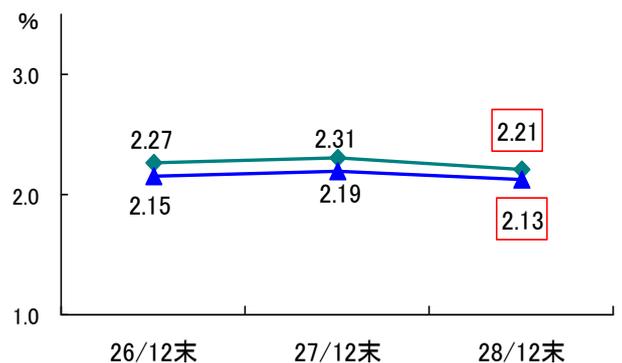
金融再生法開示債権の推移

□要管理債権 □危険債権 □破産更生債権等
億円



総与信額に対する比率の推移

◆不良債権比率
▲部分直接償却を実施した場合の不良債権比率



8. 自己資本比率の状況

自己資本比率は、劣後ローンの返済による自己資本額の減少や、リスクアセットが増加したことなどにより単体ベースで前年同期比1.29%低下の12.13%、連結ベースで同0.98%低下の12.49%となりました。

【単体】

(単位:億円)

| | 27年12月末 | 28年12月末 | 前年同期比 | 28年3月期 |
|----------------|---------|---------|---------|--------|
| | | | | |
| 自己資本 (a) | 1,613 | 1,558 | △ 55 | 1,597 |
| コア資本に係る基礎項目 | 1,620 | 1,581 | △ 39 | 1,613 |
| (うち劣後ローン) | (90) | (-) | (△ 90) | (80) |
| コア資本に係る調整項目(△) | 7 | 22 | 15 | 16 |
| リスクアセット (b) | 12,020 | 12,843 | 823 | 12,252 |
| 自己資本比率 (a/b) | 13.42% | 12.13% | △ 1.29% | 13.03% |

【連結】

(単位:億円)

| | 27年12月末 | 28年12月末 | 前年同期比 | 28年3月期 |
|----------------|---------|---------|---------|--------|
| | | | | |
| 自己資本 (a) | 1,619 | 1,619 | △ 0 | 1,604 |
| コア資本に係る基礎項目 | 1,627 | 1,637 | 10 | 1,613 |
| (うち劣後ローン) | (90) | (-) | (△ 90) | (80) |
| コア資本に係る調整項目(△) | 7 | 17 | 10 | 8 |
| リスクアセット (b) | 12,024 | 12,960 | 936 | 12,270 |
| 自己資本比率 (a/b) | 13.47% | 12.49% | △ 0.98% | 13.07% |

※ 「コア資本に係る基礎項目」および「コア資本に係る調整項目」の内訳につきましては、説明資料16ページ「7. 自己資本比率(国内基準)」をご覧ください。

平成 29 年 3 月 期 第 3 四 半 期 決 算 の 概 要 (単 体)

1. 損益の状況

(単位：百万円)

| | 平成29年3月期 第3四半期 (9ヵ月) (A) | | 平成28年3月期 第3四半期 (9ヵ月) (B) | 平成29年3月期 業績予想 (12ヵ月) | 業績予想比 進捗率 |
|-------------------|-----------------------------------|------------------|-----------------------------------|----------------------------|--------------|
| | | 前年同期比 (A)－(B) | | | |
| 経常収益 | 32,396 | △ 2,396 | 34,792 | | |
| 業務粗利益 | 25,239 | △ 2,705 | 27,944 | | |
| (除く国債等債券損益(5勘定戻)) | 25,449 | △ 2,103 | 27,552 | | |
| 資金利益 | 23,015 | △ 1,157 | 24,172 | | |
| 役務取引等利益 | 2,996 | △ 390 | 3,386 | | |
| その他業務利益 | △ 773 | △ 1,158 | 385 | | |
| (うち国債等債券損益) | △ 210 | △ 602 | 392 | | |
| 経費(除く臨時処理分) | 19,702 | 167 | 19,535 | | |
| 人件費 | 10,250 | △ 311 | 10,561 | | |
| 物件費 | 8,283 | 410 | 7,873 | | |
| 税金 | 1,168 | 68 | 1,100 | | |
| 実質業務純益 | 5,536 | △ 2,872 | 8,408 | | |
| コア業務純益(除く国債等債券損益) | 5,747 | △ 2,269 | 8,016 | 7,200 | 79.8% |
| ① 一般貸倒引当金繰入額 | △ 18 | △ 186 | 168 | | |
| 業務純益 | 5,554 | △ 2,686 | 8,240 | | |
| うち国債等債券損益(5勘定戻) | △ 210 | △ 602 | 392 | | |
| 臨時損益 | 520 | 5 | 515 | | |
| ② 不良債権処理額 | 399 | △ 774 | 1,173 | | |
| 貸出金償却 | 2 | 1 | 1 | | |
| 個別貸倒引当金繰入額 | 207 | △ 745 | 952 | | |
| 偶発損失引当金繰入額 | 84 | △ 48 | 132 | | |
| 債権売却損 | 105 | 18 | 87 | | |
| ③ 償却債権取立益 | — | △ 7 | 7 | | |
| 株式等関係損益 | 1,148 | △ 468 | 1,616 | | |
| 株式等売却益 | 1,190 | △ 428 | 1,618 | | |
| 株式等売却損 | 41 | 41 | — | | |
| 株式等償却 | — | △ 1 | 1 | | |
| 退職給付費用(臨時分) | 398 | 222 | 176 | | |
| その他臨時損益 | 170 | △ 71 | 241 | | |
| 経常利益 | 6,075 | △ 2,681 | 8,756 | 6,700 | 90.6% |
| 特別損益 | 754 | 805 | △ 51 | | |
| 固定資産処分損益 | △ 109 | △ 112 | 3 | | |
| 減損損失 | 0 | △ 54 | 54 | | |
| その他の特別損益 | 863 | 863 | — | | |
| 税引前四半期純利益 | 6,829 | △ 1,875 | 8,704 | | |
| 法人税等 | 1,995 | △ 804 | 2,799 | | |
| 四半期(当期)純利益 | 4,834 | △ 1,071 | 5,905 | 5,200 | 92.9% |
| 与信関係費用(①+②-③) | 381 | △ 953 | 1,334 | | |

(注)記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 貸出金の残高

(単位：億円)

| | 平成28年12月末 | | 平成27年12月末 | 平成28年3月末 |
|-------------|-----------|------------|-----------|----------|
| | | 平成27年12月末比 | | |
| 貸出金(平残) | 17,299 | △ 74 | 17,373 | 17,422 |
| 貸出金(末残) | 17,364 | △ 351 | 17,715 | 17,728 |
| 中小企業等貸出残高 | 8,854 | 252 | 8,602 | 8,849 |
| 中小企業向け貸出残高 | 5,096 | 98 | 4,998 | 5,208 |
| 個人向け貸出残高 | 3,758 | 155 | 3,603 | 3,641 |
| 消費者ローン | 3,682 | 160 | 3,522 | 3,556 |
| 住宅ローン | 3,420 | 119 | 3,301 | 3,322 |
| 岩手県内貸出金(末残) | 11,269 | △ 42 | 11,311 | 11,492 |

3. 預金等の残高

(単位：億円)

| | 平成28年12月末 | | 平成27年12月末 | 平成28年3月末 |
|-------------|-----------|------------|-----------|----------|
| | | 平成27年12月末比 | | |
| 預金等(平残) | 30,699 | △ 32 | 30,731 | 30,462 |
| 預金等(末残) | 30,054 | 175 | 29,879 | 32,485 |
| 個人 | 19,677 | 101 | 19,576 | 19,307 |
| 法人 | 6,069 | 240 | 5,829 | 5,574 |
| 金融 | 118 | 31 | 87 | 442 |
| 公金 | 4,188 | △ 199 | 4,387 | 7,159 |
| 岩手県内預金等(末残) | 27,907 | 260 | 27,647 | 30,275 |

(注) 預金等＝預金＋譲渡性預金

4. 預り資産の残高

(単位：億円)

| | 平成28年12月末 | | 平成27年12月末 | 平成28年3月末 |
|---------|-----------|------------|-----------|----------|
| | | 平成27年12月末比 | | |
| 投資信託 | 811 | △ 1 | 812 | 801 |
| 公共債 | 232 | △ 68 | 300 | 285 |
| 個人年金保険等 | 1,597 | 144 | 1,453 | 1,487 |
| 合計 | 2,641 | 75 | 2,566 | 2,574 |

(注) 個人年金保険等は有効契約残高を記載しております。

5. 時価のある有価証券の評価差額

(単位：億円)

| | 平成 28 年 12 月末 | | | | 平成 27 年 12 月末 | | | | 平成 28 年 3 月末 | | | |
|---------|---------------|------|-----|----|---------------|------|-----|----|--------------|------|-----|----|
| | 時価 | 評価差額 | | | 時価 | 評価差額 | | | 時価 | 評価差額 | | |
| | | うち益 | うち損 | | | うち益 | うち損 | | | うち益 | うち損 | |
| その他有価証券 | 12,736 | 631 | 669 | 37 | 12,881 | 655 | 684 | 29 | 12,819 | 673 | 715 | 41 |
| 株式 | 487 | 241 | 242 | 1 | 499 | 256 | 258 | 1 | 429 | 188 | 194 | 6 |
| 債券 | 9,904 | 347 | 353 | 6 | 10,234 | 351 | 353 | 1 | 10,123 | 447 | 448 | 1 |
| その他 | 2,344 | 43 | 73 | 30 | 2,147 | 46 | 73 | 26 | 2,266 | 38 | 71 | 33 |

(注) 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

(単位：億円)

| | 平成 28 年 12 月末 | | | | 平成 27 年 12 月末 | | | | 平成 28 年 3 月末 | | | |
|--------|---------------|------|-----|---|---------------|------|-----|---|--------------|------|-----|---|
| | 帳簿 価額 | 含み損益 | | | 帳簿 価額 | 含み損益 | | | 帳簿 価額 | 含み損益 | | |
| | | うち益 | うち損 | | | うち益 | うち損 | | | うち益 | うち損 | |
| 満期保有目的 | 356 | 44 | 44 | 0 | 380 | 32 | 33 | 0 | 377 | 50 | 50 | 0 |
| 債券 | 319 | 44 | 44 | — | 325 | 32 | 32 | — | 325 | 49 | 49 | — |
| その他 | 37 | 0 | 0 | 0 | 54 | 0 | 0 | 0 | 51 | 0 | 0 | 0 |

6. 金融再生法開示債権

(単位：億円)

| | 平成 28 年 12 月末 | 平成 27 年 12 月末 | 平成 28 年 3 月末 |
|-------------------|---------------|---------------|--------------|
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 73 | 87 | 88 |
| 危険債権 | 233 | 218 | 237 |
| 要管理債権 | 80 | 106 | 96 |
| 合計 | 387 | 413 | 423 |
| 不良債権比率 | 2.21% | 2.31% | 2.37% |

(注) 上記の平成 28 年 12 月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第 4 条に規定する各債権のカテゴリーにより分類し、当行の定める自己査定基準に基づいた平成 28 年 12 月末時点の債務者区分による残高であります。

※債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権：実質破綻先、破綻先の債権

危険債権：破綻懸念先の債権

要管理債権：要注意先のうち、元本または利息の支払いが 3 カ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権

(参考) 部分直接償却を実施した場合

当行は、部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の不良債権比率は、2.13%となります。

(単位：億円)

| | 平成 28 年 12 月末 | 平成 27 年 12 月末 | 平成 28 年 3 月末 |
|-----------|---------------|---------------|--------------|
| 金融再生法開示債権 | 372 | 390 | 402 |
| 不良債権比率 | 2.13% | 2.19% | 2.25% |

7. 自己資本比率（国内基準）

【単 体】

（単位：百万円）

| | 28年12月末 | | | 28年3月末 | 27年12月末 |
|-----------------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|
| | [速報値] | 28年3月末対比 | 27年12月末対比 | | |
| (1) 自己資本比率 | 12.13% | △ 0.90% | △ 1.29% | 13.03% | 13.42% |
| (2) コア資本に係る基礎項目 | 158,106 | △ 3,244 | △ 3,989 | 161,350 | 162,095 |
| 普通株式に係る株主資本 | 154,949 | 4,792 | 5,346 | 150,157 | 149,603 |
| 普通株式に係る新株予約権 | 156 | 10 | 10 | 146 | 146 |
| 一般貸倒引当金 | 3,000 | △ 46 | △ 345 | 3,046 | 3,345 |
| 適格旧資本調達手段の額 | — | △ 8,000 | △ 9,000 | 8,000 | 9,000 |
| (3) コア資本に係る調整項目 | 2,293 | 649 | 1,542 | 1,644 | 751 |
| 無形固定資産 | 449 | △ 73 | 208 | 522 | 241 |
| 前払年金費用 | 1,843 | 722 | 1,333 | 1,121 | 510 |
| 自己保有普通株式等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (4) 自己資本(2)-(3) | 155,813 | △ 3,893 | △ 5,530 | 159,706 | 161,343 |
| (5) リスクアセット | 1,284,395 | 59,097 | 82,394 | 1,225,298 | 1,202,001 |

【連 結】

（単位：百万円）

| | 28年12月末 | | | 28年3月末 | 27年12月末 |
|-----------------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|
| | [速報値] | 28年3月末対比 | 27年12月末対比 | | |
| (1) 自己資本比率 | 12.49% | △ 0.58% | △ 0.98% | 13.07% | 13.47% |
| (2) コア資本に係る基礎項目 | 163,710 | 2,365 | 983 | 161,345 | 162,727 |
| 普通株式に係る株主資本 | 160,636 | 9,852 | 10,412 | 150,784 | 150,224 |
| 退職給付に係るその他 | △ 401 | 231 | △ 411 | △ 632 | 10 |
| 包括利益累計額 | | | | | |
| 普通株式に係る新株予約権 | 156 | 10 | 10 | 146 | 146 |
| 一般貸倒引当金 | 3,319 | 273 | △ 26 | 3,046 | 3,345 |
| 適格旧資本調達手段の額 | — | △ 8,000 | △ 9,000 | 8,000 | 9,000 |
| (3) コア資本に係る調整項目 | 1,749 | 898 | 999 | 851 | 750 |
| 無形固定資産 | 458 | △ 64 | 217 | 522 | 241 |
| 退職給付に係る資産の額 | 1,290 | 962 | 781 | 328 | 509 |
| 自己保有普通株式等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (4) 自己資本(2)-(3) | 161,960 | 1,466 | △ 16 | 160,494 | 161,976 |
| (5) リスクアセット | 1,296,058 | 69,032 | 93,622 | 1,227,026 | 1,202,436 |